

# デザイナーのための経済コラム(42)

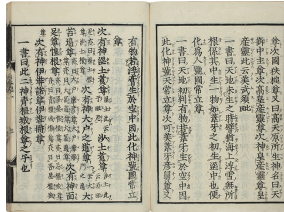
## 能登半島地震について思うこと(2)

前回は、地震の発生頻度、周期性に海溝地震、トラフ地震と内陸地震2通りあって、内陸地震の予測が現実的ではないことを考えて書きました。今回は、歴史的文書について書かれたものがないか調べたこと、考えたことを書きます

今年のNHK大河ドラマは紫式部の「源氏物語」がテーマになっています。紫式部が生きて活動した平安時代は西暦で990年代から1100年代とされています。この時代にも畿内では大きな地震がありました。ドラマの中に出てくるかどうか興味深々です。

### (日本書紀)

- 416年8月(允恭5年) 奈良県明日香村)付近
- 599年(推古7年)
- 679年(天武8年) 飛鳥M7
- 684年(天武13年) 飛鳥M7
- 701年(大宝1年)
- 734年(天平6年) 奈良M7
- 745年(天平17年) 奈良M7
- 818年(弘仁9年)



### (古文書・日記類)

- 827年8月7日(天長四年) 京都・M 6.5~7.0
- 856年(斉衡三年) 京都
- 887年(仁和三年) 南海トラフ・M 8.0~8.5**
- 890年(寛平二年) 京都・M 6.0
- 938年(承平8年) 京都・紀伊・M 7.0
- 976年(天延四年) 山城・近江M 6.7
- 1041年(長久二年) 京都
- 1070年(延久二年) 大和・山城・M 6.0~6.5
- 1093年(寛治七年) 京都・M 6.0~6.3
- 1096年(嘉保三年) 畿内・東海道・M 8.0~8.5**
- 1185年(元暦二年) 近江・山城・大和・M 7.4
- 1245年(寛元三年)
- 1317年(正和六年) 京都・M 6.5~7
- 1350年(感応元年) 京都・M 6
- 1361年(康安元年) 南海トラフ・M 8~8.5**
- 1369年(応安二年)
- 1425年(応安三十二年) 京都 M 6.0
- 1449年(文安六年) 山城・大和 M 5.5~6.5
- 1520年(永正十七年) 紀伊・京都 M 7.0~7.3
- 1585年(天正十三年) 畿内・東海道 M 7.8**
- 1596年(文禄五年) 近畿・近隣 M 7.1
- 1662年(寛文二年) 畿内・近隣 M 7.1~7.6
- 1664年(寛文三年) 京都・山城 M 5.9
- 1753年(宝暦三年) 京都
- 1819年(文政二年) 伊勢・美濃・近江 M 7.1
- 1830年(文政十三年) 京都・近隣 M 6.5
- 1854年(安政元年) 伊賀・伊勢・大和・近隣 M 7.1
- 1854年(安政元年) 南海トラフ M 8.4**
- 1927年(昭和20年) 京都府北西部 M 7.3
- 1946年(昭和21年) 南海トラフ M 8.0**
- 1995年(平成7年) 阪神・淡路大地震 M 7.3
- 2018年(平成30年) 大阪府北部地震 M 4.1

前回、紹介の近畿の地質断面図の出展は下記の地図及び解説書でした。この解説書に左の年表がありました。

独立行政法人・産業技術総合研究所・地質調査総合センター



地震を古文書から調査研究した人の報告書です。

世界には多くの歴史書がありますが、災害や地震についてはあまり記録がないようです。日本では日本書紀のような国家的記録書から方丈記のような個人的な記述文書、日記類にも災害、地震の記述が多く見られるのは、それだけ日本は災害が多いと言えます。



ユ瓦尔・ノア・ハラリ著の「サピエンス全史」の中には戦争や革命のことは記述されていても天災、災害、地震に関しては記述はありません。



2015年国連が提唱したSDGs 17項目の中からは震災に対する配慮は見当たりません。

世界全体の高齢化率は一つです。各国の高齢化率は国の数ほどあります。その違い何を意味するのか。経済力、文化度...都道府県・市町村の高齢化率は何を意味するのか。生産力の程度、地域経済力の格差を意味するのか。地域社会・自治会の高齢化率は何を意味するのか。自治力、共助・互助力の低下、災害耐力低下...個人の高齢化は何を意味するか。体力・気力の低下、人生の質(QL)の低下...

**当事者に近くなるほど問題が具体的に詳細に切実になってきます。災害も同じです。**

**当事者から離れるほど、問題は抽象的になってきます。**

(T.K.)